

## 全体像

今後進展する人口減少と少子高齢化  
(総人口は今後50年で約25%、約10万人減少)  
⇒ 社会保障・経済活動等に深刻な影響が予想される

将来にわたって活力あるまちであるために、人口減少対策をはじめとした地方創生が必要

人口ビジョンにおいて将来人口を分析

合計特殊出生率の上昇と社会増により、2060年の総人口約34万人を目指す

総合戦略において5つの基本目標を掲げ、地方創生の実現に向けて具体的な施策を推進

基本目標1：「若い世代の希望をかなえ、充実した子育て環境と子どもが健やかに学べるまち」をつくる

希望

基本目標2：「都会の利便性と田舎ののどかさが織りなす、暮らしたくなるまち」をつくる

調和

基本目標3：「一宮らしさをアピールし、ひとが集まる魅力あるまち」をつくる

魅力

基本目標4：「企業誘致や既存産業の活性化により新たなしごとを創り、働く力を育むまち」をつくる

活力

基本目標5：「安心して快適に暮らせるまち」をつくる

安心

## I. 人口ビジョン

### 1. 総人口の推移

戦後から急増した人口は、2012年をピークに緩やかな人口減少局面に入っている。

### 2. 年齢3区分別人口の推移

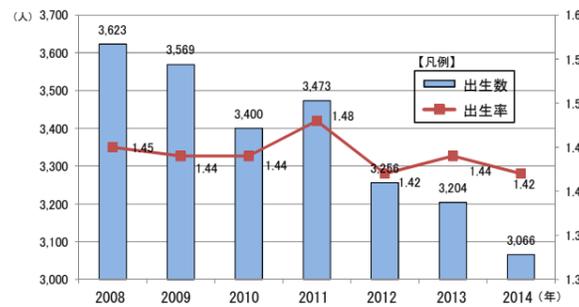
生産年齢人口（15～64歳）は1995年をピークに緩やかな減少傾向にある。年少人口（0～14歳）は長期的に減少傾向が続き、2005年に老年人口を下回った。老年人口（65歳以上）は一貫して増加している。

### 3. 自然増減と社会増減の影響

自然増減は、2012年以降は「自然減」に転じている。社会増減は全体として「社会増」の傾向が続くが、2010年からほぼ横ばいとなっている（+882人/5年）。

### 4. 合計特殊出生率

合計特殊出生率は2008年以降、一定の水準で推移し、2014年は「1.42」となっている。出生数は減少傾向にある。



すでに一宮市は人口減少の局面に入っており、さらなる出生率の低下やより良い子育て環境を求める子育て世代の市外流出が加わることで、より顕著な人口減少を引き起こす可能性がある。

国立社会保障・人口問題研究所（社人研）準拠推計によると、一宮市の総人口は今後一貫して加速度的に減少していくことが予想される。

### 影響

社人研準拠推計によると、人口減少と少子化による若い世代の減少も同時に進行し、それが社会を支えていく人のさらなる減少をもたらすという悪循環に陥る。

不便な地域の過疎化・買い物難民・空き家の増加・コミュニティの衰退など

### 1. 合計特殊出生率の上昇と転出抑制・転入促進を図る

①若い世代の結婚・子育て世帯の希望をかなえる施策を行う ②転出抑制と転入促進施策を行う

合計特殊出生率の目標  
2030年：1.8、2040年：2.07

社会増の目標  
現在の2倍程度  
(+1,800人/5年)

### 2. 施策効果後の総人口

・前述の目標が達成され継続すると、2060年の将来人口は339,503人と予想される。

人口減少対策をしなかった場合（社人研準拠推計）と比較して  
約5万人の施策効果が見込まれる

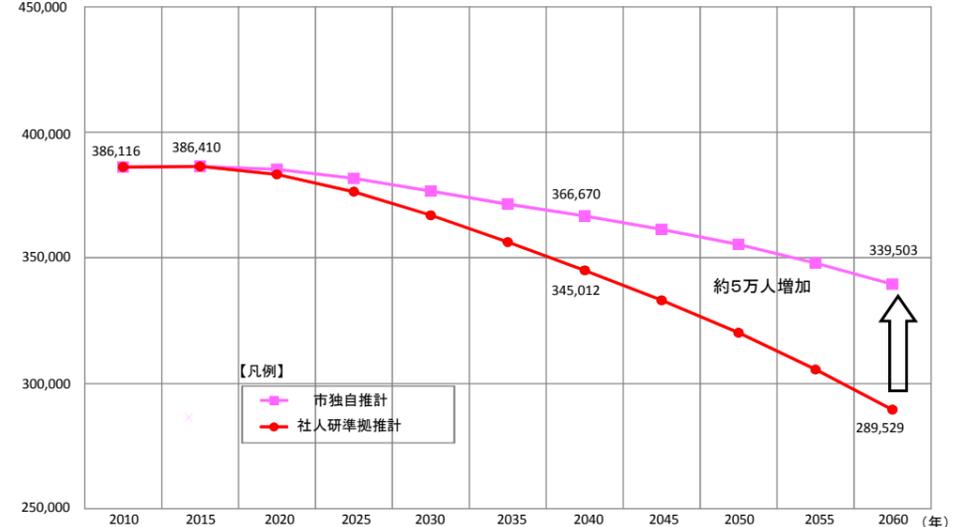
・年齢3区分別人口の比率も社人研準拠推計よりも改善される。

人口構成比率が改善し、安定的な人口構成へと移行することが見込まれる

市独自推計	2060年
総人口	339,503
年少人口比率	15.5%
生産年齢人口比率	53.5%
老年人口比率	31.0%

社人研準拠推計	2060年
総人口	289,529
年少人口比率	10.7%
生産年齢人口比率	54.5%
老年人口比率	34.9%

総人口の推計(2015～60年)



※「トカイナカ」とは、都会の便利さと田舎ののどかさを併せ持つまちを表す造語。大都会・名古屋の近くにおいて生活するには便利であり、また郊外には豊かな自然を感じることができる一宮市を象徴しています。

## II. 総合戦略

少子高齢化進展による人口減少が地域経済縮小を呼び、地域経済縮小が人口減少をさらに加速させる負のスパイラルにおちいる

一宮市の強みや潜在能力を活かした、中長期的に希望ある持続・発展可能な将来に向けての諸施策を展開する

負のスパイラルを断ち切り、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込むことで、「まち」に活力を取り戻す好循環を生み出す

5つの基本目標を相互補完的に連携させる

つなぐ

### 基本目標1

「若い世代の希望をかなえ、充実した子育て環境と子どもが健やかに学べるまち」をつくる

◎安心して子どもを生み育てられる環境、子育てしやすいまち、次世代を担う子どもが健やかに育ち学べる環境の創出

- 施策
- ① 気軽に参加できる出会いの場の提供
  - ② 妊娠・出産・子育てに対する支援
  - ③ 安心して子どもを預けられる環境の整備
  - ④ 経済的支援による子育て世代の負担軽減
  - ⑤ 快適な学習環境の整備
  - ⑥ 創意工夫をした教育内容の実施

【数値目標】  
合計特殊出生率  
1.56  
(現状 1.42)

希望

### 基本目標2

「都会の利便性と田舎ののどかさが織りなす、暮らしたくなるまち」をつくる

◎心豊かに暮らせるまち、自然とスポーツに親しみながら健康に暮らせるまち、にぎわいのある魅力あふれるまちの創出

- 施策
- ① 市内への定住・移住の促進
  - ② 自然と親しめる木曾川沿川の整備
  - ③ する・みる・ささえるスポーツの振興と健康づくり
  - ④ にぎわいを創出する中心市街地の活性化

【数値目標】  
社会増(転入超過)  
+1,800人  
(現状+882人)

調和

※数値目標は5年間の累計値

### 基本目標3

「一宮らしさをアピールし、ひとが集まる魅力あるまち」をつくる

◎訪れてみたくなるまち、魅力あるまち、ひとをひきつけるまちの創出

- 施策
- ① 魅力ある集客イベントの開催
  - ② シティプロモーションの推進
  - ③ 歴史や伝統、文化の新しい魅力発見のための新たな観光ツールの導入
  - ④ 一宮の名産品・特産品の育成とPR

【数値目標】  
主要観光イベント来客者数  
年間288万人  
(現状 約262万人)

魅力

### 基本目標4

「企業誘致や既存産業の活性化により新たなしごとを創り、働く力を育むまち」をつくる

◎新たな産業の定着と雇用、付加価値を高め稼げる産業、働きやすい職場環境の創出

- 施策
- ① 多様な手段による企業誘致の推進
  - ② 尾州テキスタイル産業の育成・ブランド化
  - ③ 既存産業の育成・支援
  - ④ ワーク・ライフ・バランスの推進

【数値目標】  
市内従業者数  
13.2万人  
(現状 約13.1万人)

活力

### 基本目標5

「安心して快適に暮らせるまち」をつくる

◎安全・安心で快適なまち、快適な暮らしの創出

- 施策
- ① 行政と地域が一体となった安全・安心なまちづくりの推進
  - ② 行政サービスの推進
  - ③ 新たな地域公共交通の検討

【数値目標】  
年間犯罪認知件数  
毎年前年より減少  
(現状 年間3,797件)

安心

※数値目標は刑法犯の件数

#### 【基本姿勢】

- ・優先度、効果の高い施策に重点的に取り組むとともに、多角的な視点から立案
- ・一宮市の強み、魅力、潜在能力等を最大限に活用
- ・全庁横断的に取り組み、市民、関係団体・機関等との連携・協働を図りながら、総力を結集したスピード感ある取り組み

#### 【政策5原則に基づく施策の効果的な推進】

- ・自立性 … 官民協力のオール一宮による取り組み
- ・将来性 … 将来にわたり活力あるまちを維持
- ・地域性 … 一宮市の特徴・魅力を活かす
- ・直接性 … 直接的・効果的な施策を集中的に実施
- ・結果重視 … 数値目標による検証・見直し

#### 【視点】

- ① 若い世代の結婚～子育ての希望をかなえる
- ② トカイナカの魅力を活かし定住人口を増やす
- ③ 伝統や文化の魅力を活かし交流人口を増やす
- ④ 地域経済の活性化と雇用の創出・安定を図る
- ⑤ 地域連携により安全・安心な暮らしを実現する

#### 【推進体制】

- ・全庁的な連携のもと、施策を効果的に推進
- ・目指すべき将来像や施策について、幅広い意見を聴取
- ・各施策に重要業績評価指標(KPI)を設定し、検証・見直し